

文献や情報の集め方

INFORMATION GATHERING



インターネットが広く普及した今、情報収集は手軽になりました。わからないことがあったらスマートフォンで調べてみるというのは、すっかり日常生活の一部になっているのではないのでしょうか。一昔前までは、情報を入手すること自体に大きな意味がありました。しかし、情報を容易に入手できるようになった今だからこそ、入手した情報から何を考えるのかがますます重要になってきています。

前述のとおり、大学ではレポートを作成したり、プレゼンテーションをしたりする機会が増えます。また、学部によっては卒業論文やゼミ論文の提出が課されています。さらには、就職活動時にエントリーシート等の作成も求められることでしょう。充実した大学生活を送るためには、質の高い文章を書くことを意識せざるを得ません。

では、質の高い文章を書くためにはどうしたら良いのでしょうか？最もやってはいけないのは、ネットから入手した情報に安易に依存することです。自分で考察しなければ、良い評価を受けることができないばかりか、剽窃(p.44を参照)を疑われることすらあります。必要なことは入手した情報からしっかりと考察をすることです。

とはいえ、まずは自分の取り組むテーマに関する先行研究や、自分の考えの論拠となる資料やデータについて情報をつかむことが出発点になります。その際、信頼のおける情報をどれだけ効率よく集められるかが重要になってきます。的確な情報を集めることができれば、じっくりと考える時間をより長くとれるようになります。



図書館を使いこなそう！

インターネットを使って収集した情報が有用な場合もありますが、自分の欲しい情報を効率的に集めるのは意外と難しいものです。そのため、図書館を上手に使いこなすことは、大変重要です。大学で充実した学生生活、研究生活を送れるかは、「知の集積」である図書館と上手につきあえるかどうかにかかっています。まずは図書館に行ってみましょう！

法政大学図書館は、市ヶ谷・多摩・小金井と各キャンパスにあります。所属学部にかかわらず、本学学生はどのキャンパスの図書館でも利用可能です。使い方は、各館カウンターで丁寧に説明します。わからないことがあれば、図書館スタッフへ質問してください。



市ヶ谷図書館—80年館地下4階～地上2階、富士見坂校舎1階、市ヶ谷田町校舎5階(閲覧室)

多摩図書館—3号館地下2階～地上4階

小金井図書館—南館地下1階、地上1階・3階

図書館は開架、閉架に分かれており、開架には一般向けの資料(図書、雑誌、多読本等)が、閉架にはより専門的な内容を持つ資料が置かれています。

法政大学図書館公式サイト <http://www.hosei.ac.jp/library/>



図書館利用のチェックポイント

- あなたの読みたい本は、図書館にありますか？ 法政大学図書館に必要な本があるか、その本が貸出中でないかどうかは、法政大学図書館の公式サイトからOPAC(次ページ参照)を使って自宅からも調べることができます。
- 返却期限の過ぎた本はありませんか？ 学部生への館外貸出は10冊まで、期限は2週間(雑誌・紀要は1週間)です。
- 延滞中の本がある場合は、貸出や予約・取寄せはできません。
- 図書館は開いていますか？ 休館日や開館時間については、法政大学図書館公式サイトの中の「開館日程」を参照してください。
- 学生証を携帯していますか？ 図書館に入るには、学生証をゲートに通す必要があります。本の貸出にも学生証が必要です。
- 資料によっては図書館ではなく、研究所や学部資料室に所蔵されているものもあります。その場合は、図書館のカウンターで利用方法を確認してください。

01 自分に必要な資料が決まっている場合

教員から与えられた課題によっては、参考資料が指定されていることがあります。そうした時には図書館の蔵書検索システムOPAC（オパック：Online Public Access Catalog）を使って、その資料が大学の図書館にあるかどうか探してみましょう。

法政大学図書館OPACで検索する

オパック
OPAC

<http://opac.lib.hosei.ac.jp/>（パソコン・スマートフォン）

法政大学図書館OPACは、資料探しの必須ツールです。各図書館のOPACコーナーで利用できる他、自宅のパソコンやスマートフォンでも、上記のURLにアクセスして利用することができます（図書館のトップページから「OPAC蔵書検索」というバナーをクリックしてもアクセスできます）。

OPACでは、タイトル、著者名、出版者等のキーワードを用いて、大学図書館内の全資料を横断的に検索できます。検索結果には、書名、所蔵館、配架場所、請求記号等のほか、資料によっては目次・あらすじも表示されます。検索結果をプリントアウトしたり、メール送信したりして、必要な情報を手に入れたら、資料の配架場所に向かい、必要に応じて閲覧室で読んだり、借りて利用したりしましょう。

OPACには資料検索の他、以下の機能があります。

資料の予約

利用したい資料が貸出中の場合、次の利用を予約できます。

資料の取寄せ

利用したい資料が他キャンパスの図書館にある場合、自分の希望する図書館で受け取ることが出来ます。ただし、大学紀要や新刊雑誌等は、カウンターで取寄せを申し込んでください。

貸出予約照会

現在借りている資料や返却期限等が確認できます。

貸出期間の延長

資料の貸出期間の延長ができます（図書のみ、3回まで）。
※延長希望の本に予約が入っている場合やすでに貸出期限を過ぎている場合は延長はできません。



法政大学図書館では、学生の皆さんの学習を支援しています。

- 図書館ガイダンスの開催
- データベース講習会の開催
- 図書館公式サイトでの情報提供
- パスファインダー（調べ方の近道ガイド）の発行

これらの他、さまざまなイベントや企画を行っていますので、積極的に利用しましょう。詳しくは、公式サイトや掲示をご覧ください。

02 自分の必要とする資料が具体的にわからない場合

■HOSEI Searchからヒントを得る

必要な資料がピンポイントでわからないような場合には、HOSEI Searchを使ってみましょう。HOSEI Searchでは前述のOPACの情報に加え、国内外の論文、データベース、電子ブックや電子ジャーナルをまとめて検索することができます。そのため、自分が探しているものが「図書」「雑誌」「電子資料」のどれに当てはまるのかわからない場合にも便利です。

HOSEI Search <https://hosei.summon.serialssolutions.com/>

■書架に直接行く

自分に必要な資料の題名等が具体的にはっきりしていない場合でも、その分野が決まっていれば、直接書架にいった探すという方法もあります。図書館の資料はその内容によって、日本十進分類法(NDC)で分類されています(一部の資料は法政大学図書館分類法によります)。関連した資料はまとめて配置されていますので、自分の知りたい分野が配置されている書架に行き、実際に資料を確認しながら探してみましょう。

■書籍・論文の「参考文献」「脚注」の活用

テーマはざっくりと決まっているが、何を讀んだらよいかかわからない、という場合には書籍や雑誌掲載論文の「参考文献」や「脚注」を活用するという方法もあります。特に、学術的な書籍や雑誌掲載論文には必ずと言っていいほど「参考文献」の一覧や「脚注」が収録されています。まずはテーマから浮かぶキーワードを元にOPACで資料を検索し、その資料を手にとって「参考文献」や「脚注」を見てみましょう。すると、その先に読むべき資料がきっと見つかるはずで、とくに、卒業論文など専門的な内容で執筆しようとするれば、先行研究に対する理解は欠かせません。良質な先行研究を効率的に見つけるためにも「参考文献」や「脚注」をチェックしましょう。ネットでやみくもに検索するよりも効率的に的確な資料を探することができます。

■「参考図書」からヒントを得る

テーマを自分で設定したり、参考資料が指定されていないために、読まなければいけない資料は何かということ自分で考えることから始めなければならない場合もあります。そんな時はまず、図書館の「参考図書コーナー」に行ってみましょう。参考図書(レファレンスブック)とは「調べ物をするための資料」です。ここでは、基本的な知識情報を得るための図書(辞典やガイドブック等)や資料を探すための図書(索引等)が置かれています。こうした参考図書から基本的な知識を得て、どのような方針で調べるか見通しを立ててみましょう。テーマに関わるようなキーワードが見つけれたら、OPACで検索して、自分に必要な図書を探し出すことができます。

各図書館の参考図書コーナー(以下の他、閉架書庫にも配架されています)

●市ヶ谷図書館：80年館地下1階 ●多摩図書館：3号館1階 ●小金井図書館：南館1階

※参考図書は、館外貸出はできません。図書館の中で利用してください。



レファレンスカウンターを利用してみよう!

レファレンスカウンターとは、図書館の「相談窓口」です。図書館員の人たちは、図書館利用・資料検索のプロフェッショナルです。図書館を効率よく利用し、欲しい情報を探し出す方法を、親切かつ的確にアドバイスしてくれます。図書館を利用して困った時には、気軽に質問したり、相談してみましょう。

場所 ●市ヶ谷図書館：80年館地下1階 ●多摩図書館：3号館1階 ●小金井図書館：南館1階

